

	課題分析	授業改善策	改善状況
国語	<p><b>【文章読解】</b> ○文章を読み取る力に個人差があり、読解練習が量的に不足している。</p> <p><b>【表現力】</b> ○自分の考えを表現することに意欲的な生徒が多いが、表現方法が必ずしも適切ではなく、意図したことが伝わらなかった場面もある。</p>	<p><b>【文章読解力の向上】</b> ○説明的文章に関しては、文章の構成をつかんでから、必要な箇所を精読できるよう指導する。文学的文章は読み取るポイントを繰り返し指導し、読解に必要なパターンを身に付けさせる。</p> <p><b>【表現力の向上】</b> ○文章や発話について型を与え、それに沿って発言する機会を増やしていく。また、友達の意見を聞き、記録し、それをもとに自分の意見を修正し文章にまとめる作業を行い、生徒の表現力向上を図る。</p>	
社会	<p><b>【関心・意欲・態度】</b> ○学習に対して意欲が感じられる生徒が昨年よりも増えている。また、ノートなどの提出物も、少しずつ改善が見られる。</p> <p><b>【知識・技能】</b> ○決まったことを実践する力はある。必要な知識を活用する力が求められる。</p> <p><b>【思考力・判断力・表現力】</b> ○物事を覚えることは不得意ではないが、資料を見て考える力は決して高くない。また、多面的・多角的な見方ができず、1つの答えを探し、わからないと思考が止まってしまう生徒が多い。</p>	<p><b>【興味関心】</b> ○授業の中で、時事に関する問題を取り上げることによって、社会事象に関心をもたせ、その問題に主体的に考える力を付けさせる。</p> <p><b>【知識・技能】</b> ○教科書・資料集などを多く活用して、資料を読み取る力を伸ばす工夫を行う。</p> <p><b>【思考力・判断力・表現力】</b> ○自分の考えをまとめさせる場面を多くつくる。</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ○役割を割り振り、課題に対して班で話し合い、他人の意見を聞きながら、最終的に自分の意見をまとめる活動を取り入れる。また、自分の考えを自信をもって発表できる環境作りを行う。</p>	
数学	<p><b>【知識・技能】</b> ○基本的な計算技能について、スピードが速く、精度も高い生徒が多い一方、なかなか手が進まない生徒もおり、生徒間での差が大きい。また、基本的な用語をきちんと理解していない生徒もいる。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b> ○思考力等を要する問題について、きちんと理解している生徒がいる一方、理解度が低い生徒も多い。</p>	<p><b>【知識・技能】</b> ○演習量を増やし、繰り返し学習することによって、基本的な計算技能の底上げを図る。また、生徒自身が学習内容を毎回振り返ることによって、自己修正を促す。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b> ○単に解き方の手順を教えるだけでなく、なぜそのような考えに至るか、どこからその発想が生まれるかを、生徒目線で問題解決の過程を伝えることで、生徒の思考力等を養う。</p>	
理科	<p><b>【理解】</b> ○1学年の既習項目も含め、理解が十分ではない生徒がいる。</p> <p><b>【基礎的事項】</b> ○基礎的な科学の知識の定着が不足してい</p>	<p><b>【理解】</b> ○個々の事象に対する理解が深まるよう、ICT機器を活用したり、小テストを実施したりする等、教材や指導を工夫する。</p> <p><b>【基礎的事項】</b></p>	

	<p>る生徒がいる。</p> <p><b>【文章表現能力】</b></p> <p>○質問に対する答えの文章として成り立っていない文や、的外れな内容の文を書く生徒がいる。</p> <p><b>【科学的思考】</b></p> <p>○「科学的に考える」姿勢が、十分に身に付いていない。</p>	<p>○基礎的内容が定着するよう、ワークシートの工夫や小テスト等を実施する。</p> <p><b>【文章表現能力】</b></p> <p>○文で表現させる指導を随時行い、課題の提出で個々の確認を行う。</p> <p><b>【科学的思考】</b></p> <p>○科学的思考を促すような、授業展開・発問を行う。</p>	
音楽	<p><b>【興味・関心】</b></p> <p>○音楽活動の美しさの体験を通して、音や音楽への興味・関心を高めていく指導の工夫が必要である。</p> <p><b>【創意工夫】</b></p> <p>○多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創意工夫して表現する能力を高めていく指導が必要である。</p> <p><b>【達成感】</b></p> <p>○自己評価を工夫して達成感を味わう必要がある。</p> <p>○学校行事との関連を図りながら達成感をもたせていく指導の工夫が必要である。</p>	<p><b>【主体的な活動】</b></p> <p>○多様な音楽に対する理解を深めさせるとともに、主体的に幅広く鑑賞し音楽的視野を広げられるよう指導を工夫する。</p> <p><b>【教材選択】</b></p> <p>○音楽に対して自己のイメージをもたせ、生徒が表現の技能を伸ばし創意工夫して表現できるような教材を精選する。</p> <p><b>【自己評価】</b></p> <p>○自己評価を行い、授業への取組を確認するとともに自分の実力をしっかりと把握し、向上心を育てる。</p>	
美術	<p><b>【関心・意欲・態度】</b></p> <p>○授業への取組は大変良好であり落ち着いて集中し制作ができるが、自分の作品に対する評価が低いので自分の作品を多方向から鑑賞し、また生徒同士で鑑賞することで自己評価の向上を図る。</p> <p><b>【発想や構想力】</b></p> <p>○失敗を恐れず、創造的な表現活動に対しての意欲を高める。</p> <p><b>【創造的な技能】</b></p> <p>○根気よく、こつこつ丁寧に作業できる力を継続する。</p>	<p><b>【制作意欲と達成感の向上】</b></p> <p>○様々な芸術家の作品を鑑賞させることを通し、自分ならではの表現を探求させ、自己肯定感を高めさせる。</p> <p>○生徒同士の作品鑑賞会を行い、互いの作品の良い面を伝え合う時間を設ける。</p> <p><b>【発想、構想力の向上】</b></p> <p>○短時間イメージトレーニング課題を定期的に行い描写的な思考をする時間を設ける。</p>	
保健体育	<p><b>【健康安全に留意した授業】</b></p> <p>○『授業規律』をしっかりと守り、落ち着いて安全に授業に取り組む姿勢を身に付けさせることが必要である。</p> <p><b>【個に応じた指導】</b></p> <p>○運動の得意な生徒と苦手な生徒との能力差に対応する指導の工夫が必要である。</p>	<p><b>【健康安全に留意した授業】</b></p> <p>○服装、挨拶、準備運動のルール確認を徹底し、授業の説明や注意点を落ち着いた態度で聞かせ、理解させる。</p> <p><b>【段階的な指導の工夫】</b></p> <p>○授業のねらいを明確にし、見通しをもたせて、段階的に分けて技能練習を繰り返し行う。また、ICT 機器、映像資料を有効に活用</p>	

	<p><b>【自主的課題解決】</b></p> <p>○自ら課題を理解し、自主的に課題解決に取り組む力を育む指導が必要である。</p>	<p>する。</p> <p><b>【課題発見活動】</b></p> <p>○ペアやグループ活動で実技を見合ったり、意見を交換し合ったりする場面を設ける。また、授業の振り返りを『個人記録カード』に記入させ、資料を活用しながら点検し、アドバイスをする。</p>	
技術 家庭	<p>技術分野</p> <p><b>【興味・関心】</b></p> <p>○各分野において、他教科との関連性をもたせ、関心意欲を高める必要がある。</p> <p><b>【工夫創造】</b></p> <p>○基礎的・基本的な知識の定着を図る必要がある。その知識を基に、新しい発想を生み出そうとする姿勢を育む必要がある。</p> <p><b>【技能】</b></p> <p>○ものづくりに必要な技能の習得を製作実習を通して学ぶ必要がある。</p>	<p>技術分野</p> <p><b>【目標の把握】</b></p> <p>○題材ごとの評価内容・方法を明確に提示して、授業のねらい・目標を理解させる。実生活との結び付きを意識させ、指導を行う。</p> <p><b>【教材選択】</b></p> <p>○生徒の技術的な興味・関心を理解した上で教材を精選する。</p> <p>○実生活に身近な教材を選択し、製作実習において、一つの作品を時間内に終わらせることのできる教材を選択し、作品を完成させた達成感を味わわせる。</p> <p><b>【学習の定着】</b></p> <p>○製作実習時の技能試験、題材終了時に確認テストを実施する。</p>	
	<p>家庭分野</p> <p><b>【関心・意欲・態度】</b></p> <p>○授業における聞く姿勢は大変良いが、発問に対する挙手・発言が前年度より減ってしまった。よって、生徒の関心・意欲を高め、授業に積極的な姿勢で臨めるような工夫が必要である。</p> <p><b>【実生活との結び付き】</b></p> <p>○衣生活・住生活において自ら工夫した経験が乏しく、学習内容と実生活の関連性を実感しにくい様子が見られる。</p>	<p>家庭分野</p> <p><b>【主体的な学びに繋げるための工夫】</b></p> <p>○意見交換がしやすい生徒同士でのグループ活動やゲーム形式の学習活動、製作活動などを取り入れて、生徒の学習意欲を高めたり、発言しやすくしたりする。</p> <p><b>【実生活を題材にした授業の工夫】</b></p> <p>○自分自身の衣生活・住生活を予め振り返り、授業を通してどのように変わったかを振り返る学習活動を毎回行う。</p> <p>○シミュレーションゲームや製作活動を通して、学習内容を実生活に生かす見通しがもてるようにする。</p> <p>○長期休暇では、学習成果を家庭で実践できるような課題を用意する。</p>	
英語	<p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <p>○発音に自信がなく、声が小さくなる生徒が増えてきている。</p> <p>○ライティングに苦手意識は無く、多くの生徒が積極的に取り組んでいる。</p>	<p><b>【chrome book の活用】</b></p> <p>○英作文の課題を出すことで、ライティングの質を上げる。</p> <p>○自分の音読を録音し、自分の発音について客観的に聞けるようにする。</p>	

<p><b>【知識・技能】</b></p> <p>○知識や技能を問う問題の点数が低いので、生徒が自信をもって取り組めるように指導する必要がある。</p>	<p>○クラスメイトと英語の読み方について教え合い、正しい発音を理解させる。</p> <p>○フォニックスを理解することで、初めて学ぶ英単語でも読めるようにする。</p> <p><b>【会話に必要な語彙指導】</b></p> <p>○表現に必要な語彙の習得に課題がある生徒が見られるので、フォニックスと語彙を結び付けて習得する指導を行っている。</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b></p> <p>○e ライブラリーを使用し、主体的に学習に取り組む時間を作る。</p>	
--	---	--